

9月定例会号

目次

わかやま 市議会 だより

- ・特集 地域防災への使命
輝く女性たち P2
- ・9月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・市議会からのお知らせ P12

No.099 令和2年(2020年)11月1日発行



私たちが守る

【放水訓練】宮前分団
第26回和歌山市消防操法大会 準優勝

地域防災への使命 輝く女性たち



写真左から

岡崎分団 嶋津さん、宮前分団 西平さん、宮前分団 山本さん、
宮分団 森崎さん、貴志分団 平山さん、岡崎分団 兵頭さん、
和歌山市消防局マスコットキャラクター 和びとちゃん



【和歌山市消防団 白樫団長のメッセージ】

仕事、家事、育児など日々の生活で培った女性消防団員の経験を生かし、地域防災力の充実を図っていきます。

和歌山市消防団は、約1650名の団員が所属しており、それぞれ地域の消防団で消火活動などを行う基本団員のほか、OB団員、特別OB団員、消防音楽隊で活動する防火広報団員で構成されています。その中でも女性消防団員は現在69名が所属しており、地域の安心と安全を守るため、それぞれの得意分野を

まちに密着

女性の活躍や社会進出が推進されている今、家事や育児と仕事を両立する女性も増えてきました。そんな中、今回取材したのは、日頃から私たちの生活を守ってくれている消防団で活動する女性消防団員です。消防団は力仕事で大変？ それだけではありません。男性中心の消防団で、女性の視点や強みをもって活躍する皆さんにお話を伺いました。

生かし活動しています。

消防団の主な活動は、消火活動や防災訓練。また、日常的に火災消火に必要な手順の確認、ポンプ操法等の訓練を行い、技術の向上に努めています。そのほか、火災予防を呼びかける巡回広報も行っており、このような地道な活動と和歌山市消防局との連携もあって、本市の火災件数は減少傾向となっています。



自分たちのまちは自分たちで守る

全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動や成果などを発表する全国女性消

防団員活性化大会。この大会に刺激を受けた6人の団員が、消防分団の垣根を越えて集まり、大会出場に向けて防災啓発劇に取り組んでいます。

他分団の団員と二つのものを一から作り上げていく楽しさと難しさ、また、交流から生まれた新たな絆を肌で感じながら、防火防災の重要性について共通認識の下、日々練習に励み、その精度を高めあっています。

女性消防団員の強みを生かして

家事や育児、仕事との両立を図り、男性消防団員とともに地域防災のために活躍する女性消防団員の皆さんの雄姿は心から頼もしく思います。

火災や災害発生時の現場活動だけではなく、平常時の防火防災活動においても子供や女性、高齢者に寄り添ったきめ細かい心配り、親しみやすさからくる安心感など、女

「自分たちのまちは自分たちで守る」消防団の使命と防火防災の大切さをより多くの人に知ってもらうため、今後は、この啓発劇を様々なイベントで披露したり、幼稚園や学校に出向き、子供に楽しくて分かりやすい出前授業をしていきたいと彼女たちは言います。こうした熱い思いには、感謝の念に堪えません。消防分団の活動に加え、地域を越えて取り組む新しいスタイルに期待したいと思います。

性の視点や強みがあると彼女たちは言います。

和歌山市消防局の組織的な支援に加え、家族や同僚消防団員に支えられながら、地域愛と使命感を持って活動し、女性のチカラを発揮している姿を見ていると、女性活躍社会を間近に感じることができます。

和歌山市議会としても、彼女たちのような方が一人でも多く活躍できる社会環境の整備に向けて取り組んでいきたいと思えます。

編集後記



今にも雨が降ってきそうな曇天の下、宮前消防分団の皆さんに導かれて放水訓練を体験。ホースの重み、放水の反動は想像以上で、それを難なくこなす彼女たちのパワーを実感。自分たちの地域は自らが守る!という気概を間近に感じ、防災ボランティアである消防団員の皆さんに一歩でも近づけるよう防火防災意識を高めなければと痛感した一日でした。

特集担当:丹羽 直子、赤松 良寛、川端 康史



【消防団員募集】

地域のために活躍している消防団員がたくさんいます。私たちと一緒に活動してみませんか。

入団を希望される方は、地元地区消防分団長又は和歌山市消防局消防総務課(TEL.426-0119)までお問い合わせください。



9月定例会の概要

開会

9月11日

- ・会期の決定(9月11日～10月1日)
- ・議案説明(報告関係1件、議案13件(補正予算案4件、条例案3件、その他6件))

一般質問等

9月15日

- ・山中敏生議員、姫田高宏議員、中村朝人議員

9月16日

- ・丹羽直子議員、井本有一議員、堀 良子議員

9月17日

- ・坂口多美子議員、中庄谷孝次郎議員、南畑幸代議員

9月18日

- ・浜田真輔議員、森下佐知子議員、遠藤富士雄議員
(P6～P9に概要掲載)
- ・議案等の委員会付託

常任委員会

9月23日～28日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

9月29日

- ・各常任委員会で議案等について、討論及び採決
(P10～P11に概要掲載)

閉会

10月1日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(姫田議員)、採決
- ・請願(1件)
- ・賛成討論(森下議員)、反対討論(藪議員)、採決
- ・追加議案の説明(補正予算案1件、条例案1件)、質疑(浜田議員)、採決
- ・追加議案の説明(決算関係18件)
- ・決算特別委員会の設置、委員の選任
※決算関係の議案は、閉会中の継続審査
- ・議員発議(市長専決処分事項の指定1件、意見書案2件)、採決

令和2年度予算(9月補正後)

一般会計	1,971億7,656万4千円 (補正額45億7,981万1千円)
特別会計及び公営企業会計	1,390億527万3千円 (補正額▲411万8千円)
合計	3,361億8,183万7千円

補正予算の概要

一般会計では、新型コロナウイルス感染症関連予算として、クラスター施設等への医師や看護師派遣事業、検体採取における乳幼児・高齢者等への利便性向上、PCR等の病原体検査体制の強化、地域公共交通への支援などに要する経費が、また、和歌山市動物愛護管理基金を設置し、寄附金を原資として積み立てる予算が計上されました。

特別会計では、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計で、保険料収納の利便性向上を図るため、システム改修に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

新型コロナウイルス感染症対策を巡る議論

7月13日から17日までの会期で7月臨時会が開かれ、新型コロナウイルス感染症対策に関連した補正予算案1件、物品購入契約1件がそれぞれ全会一致で可決されました。

和歌山市議会では、感染症対策と経済活動の両立を目指し、定例会、臨時会及び議会運営委員会で積極的に議論しています。



7月臨時会 議案の採決

9月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。
 なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。
 ※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議案番号	件名	結果	公明党議員団					自由民主党市議団					政和クラブ			日本共産党議員団			民主クラブ			和歌山興志クラブ		日本維新の会														
			堀西良子	園内浩樹	中塚浩昭	藪山昭博	奥山友紀	中尾哲彦	松本元彦	中村謙二	丹羽直樹	井上祐典	古川祐典	宇治田清治	遠藤富士雄	芝本和己	戸田正人	松井紀博	北野均	佐伯誠章	山本宏一	井本有朝	中村朝人	森下知子	坂口多美子	姫田高宏	南畑幸代	川中敏生	永野裕久	山本忠篤	寒川良寛	赤松真純	浜田昌純	吉本方哉	尾崎方哉	中塚孝次郎	山野麻衣子	
議1	令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議2	令和2年度和歌山市土地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議3	令和2年度和歌山市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議4	令和2年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議5	和歌山市職員給与条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議6	和歌山市改良住宅条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議7	和歌山市営駐車場条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議8	市道路線認定(18路線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議9	工事請負契約の締結(汐見団地解体撤去工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議10	工事請負変更契約の締結(河西橋上部工事(P1~P4))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議14	令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議15	和歌山市動物愛護管理基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請4	大学などの一律学費半額と高等教育機関への支援を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○		
発議1	地方自治法第180条による市長専決処分事項の指定の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議2	防災・減災、国土強靱化対策と地域経済復興に向けた社会資本整備の更なる推進を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議3	地方の意向を真に反映した地方財政の充実・強化を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第11号から同第13号、認第1号から同第18号までの議案については、決算特別委員会での閉会中の継続審査に付されたため、一覧に掲載していません。

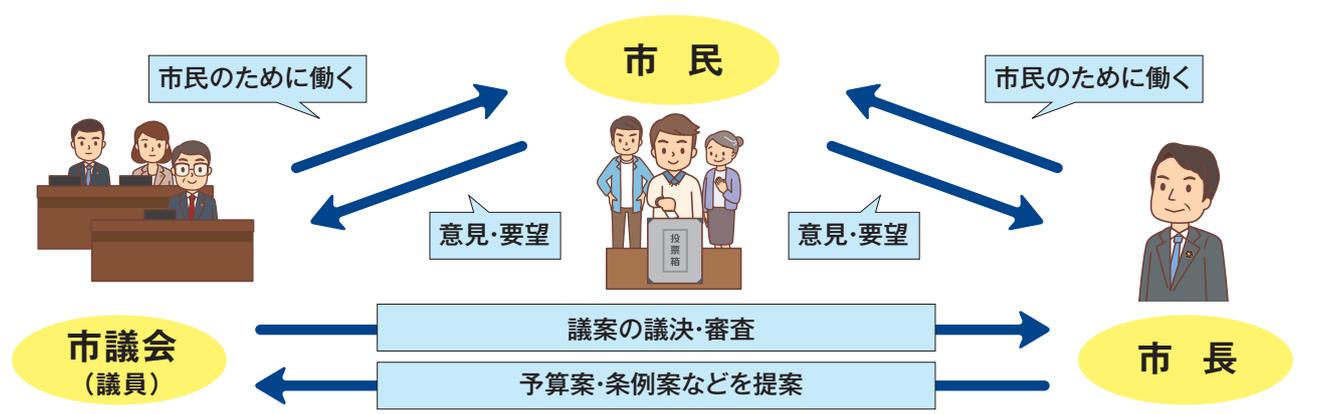
意見書ってなに？

公益に関する重要な事項で市だけでは対応できない重要なものに関して、議会の意思を意見書としてまとめ、国や県などの関係機関に提出し、その解決を求めるものです。意見書は、議員が案文を議長に提出し、本会

議で可否を決めます。可決した意見書は、市議会ホームページでご覧いただけます。



議会の仕組み(市民・市議会・市長の関係)



ピックアップ

PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継がご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

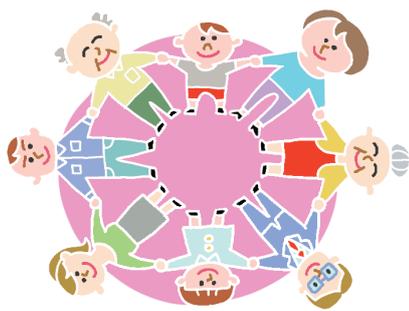
公明党議員団



ほり よしこ
堀 良子

我が事丸ごとの地域づくり

問 本市では、昨年からは誰も置き去りにしないことを目的に、地域の困りごとを地域住民と支援機関が互いに協力して包括的に支援体制を持つ事業として、我が事丸ごとの地域づくり推



進事業を立ち上げている。この事業は伴走型で、本人と同じ目線に立ち、寄り添っていくことでつながりを持ち続け、課題を一つずつ解きほぐし、粘り強く支援につなげていくことが期待できる。1年を振り返ったものの成果や課題はどのようなものか。

答 関係機関を交えた個別ケース会議等の開催、地区社会福祉協議会員や自治会員などをメンバーとした協議体での会議を地域ごとに開催し、地域課題の抽出や解決に向けた協議を行った。また、課題として、取組に地域差が見られたことから、活動内容の周知に努め、地域の実情に応じた支援をしていく。

地域共生社会の実現

問 相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が来年度から任意事業として始まる。

この事業を実施することで、制度の縦割りを打破し、制度に人を合わせるのではなく、困りごとを抱えている人とその家族に寄り添った支援へと福祉の大転換を図ることが期待される。これこそ、誰も置き去りにしない社会を実現する基盤となる事業である。

本市においても、今こそ市役所が先頭に立って、この事業に積極的に取り組む、コロナ禍においても誰一人置き去りにしないという姿勢を示していくべきと考えるが、どのように取り組むのか。

答 地域共生社会の実現に向けては、地域住民の複合化、複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築する必要があり、様々な支援機関が連携する円滑なネットワークづくりが重要であると考えている。

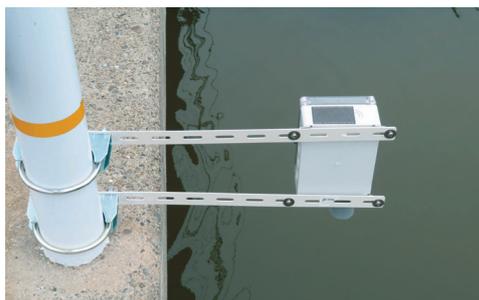
重層的支援体制整備事業は、多岐にわたる事業を一体的、かつ、重層的に行う必要がある。庁内はもとより他の支援機関との連携を要するため、関係部局によるワーキンググループを立ち上げ、共通認識を持つとともに、課題対応など協議を行い、本市の実情に合った事業の実施に向けた検討を進めていきたい。

ICT/IoTを活用したため池の防災対策

問 ため池の管理体制は、人口減少や高齢化による影響を大きく受けている農家や水利組合等が担っており、維持管理が大変厳しい状況に陥っている。

豪雨の際、危険な状況の中、現地へ確認に行かなければならないことは安全面で懸念がある。地域住民の生命と財産を守るという観点から、自助・共助に公助の手を差し伸べ、ICT/IoTを大いに活用すべきと考えるが、見解はどうか。

答 各実証実験などを参考にICT/IoTの活用を検討していく。また、自治



IoTを活用した水位計

会やため池管理者に対して、自助・共助の防災目的に活用できるICT/IoT技術の情報提供を行っていく。

自由民主党市議団



にわ なおこ
丹羽 直子

ヤングケアラーへの対応

問 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、外出自粛などで家庭生活に変化が起これ、様々なストレスから子供への虐待リスクが高まった現状に胸が痛む。児童虐待に加えて育児放棄、また、

家族の介護などで自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子供「ヤングケアラー」が浮き彫りとなったケースもある。

このような状況の下、埼玉県議会では、本年3月にヤングケアラーへの支援を含む、埼玉県ケアラー支援条例が可決され、同県は先駆的な取組を進めている。

本市においてもヤングケアラーの早期発見、早期支援、継続支援に向けての制度や政策、支援方を策定すべきだと考えるが、こども総合支援センターだけでなく部署を越えて認識と連携を図るためにも、ヤングケアラーの実態把握について調査してはどうか。



ヤングケアラーの実態に

自らの育ちや教育に影響を及ぼしているヤングケアラー

ついて把握することは重要であると考えており、和歌山市保護児童対策地域協議会を通じて、教育委員会や関連団体と連携し、他都市で実施しているヤングケアラーの実態調査を研究するなどし、実態把握の調査を進めていく。



えんどう ふじお
遠藤 富士雄

市長のリーダーシップを

問 本市のまちづくりの核である和歌山城の整備、とりわけ天守閣の耐震改修については喫緊の課題であり、木造再建を目指すのであれば、その旨、明確にすべきである。また同様に、中学校の全員給食についても、その重要性を認識しているのであれば、財政的な課題はあったとしても、市長がリーダーシップを発揮し、未来に向けた方向性を示すべきではないか。

答 天守閣については、木造再建を目指しているが、コロナ禍による財政状況の悪

化により、耐震改修をはじめ和歌山城全体の整備スケジュール等を調整する必要がある。一方で、令和2年4月に文化庁より出された「復元等に関する基準」に基づき、木造再建の復元に向けて協議している。今後はその要件に必要な新たな資料の発掘・収集を積極的に行うとともに、各省庁の補助金の活用を検証し、文化庁に対し、更に粘り強く協議していく。

また、全員給食については、全ての生徒に対し、栄養バランスのとれた食事を提供でき、食育の面からも必要であると考え。今後、具体的な方法や財源の確保を調整した上で、全員給食を導入していく。



和歌山城天守閣

日本共産党議員団



ひめだ たかひろ
姫田 高宏

地域バスのガイドライン

問 改善が必要だと思いませんか。

答 事業者と行政の協力・連携、住民の方々の積極的な利用が重要との趣旨で作成しているものだが、地域の特性に応じた制度となるよう考えていく。



なかむら あさと
中村 朝人

**水道料金の減免
コロナ対策関連事業**

コロナ禍の経済的負担の緩和、手洗いによる公衆衛生の向上と感染予防対策のため、減免を求めた。

3000円相当の商品券を配布する事業は、制度を知らない事業者が多いため、登録事業者の拡大を求めた。



いもと ゆういち
井本 有一

IR(カジノ)の誘致

コロナ禍の下、長時間過密のビジネスモデルは通用しなくなっている。経済復興などをカジノに頼らず、誘致の見直しを求めた。

障害者向け市営住宅

古い構造の浴室やトイレは、障害者の要望を取り入れ、改善を図るよう求めた。



さかくち たみこ
坂口 多美子

生活保護行政

問 毎夏猛烈な暑さに襲われる中、全ての生活保護利用者にはエアコン設置を認めるよう国に求めるとともに、市独自でも補助を行うべきだと思いませんか。

答 本市独自の補助制度は困難であるが、全国市長会を通じて要望していく。



みなみばた さちよ
南畑 幸代

コロナ禍等の災害対策強化

市は避難所の密を避けるためのスペースの確保や指定避難所以外の避難所の開設などを見直した。また、必要な人員を増やし、避難所運営訓練を実施予定。さらに、災害対応力強化に女性の視点を取り入れるため、防災会議委員に3割以上の女性登用を目指していく。



もりした さちこ
森下 佐知子

国民健康保険制度

問 コロナ対策としての国保料減免の利用者はまだ少ないと思われる。周知の徹底とともに保険料の滞納者に対する納付相談は専門的な職員体制を講じられたい。
答 滞納者への対応は、社会保障制度に精通した職員体制の充実に努めていく。

民主クラブ



やまなか としお
山中 敏生

コロナ後の子育て支援・子供の見守り

問 コロナの影響で経済が停滞する中、来年度の予算編成、限られた予算での市政運営、コロナで生活困窮に陥った市民への支援など、課題は山積みである。
そのような中、国においては、支援対象児童等の居室を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供などを通じて子供の見守り体制を強化するための補正予算を計上し、自治体に活用を促している。この事業は、市町村が実施主体であるため、民間団体から本市に対し、事業化に向けて取り組むよう申し出ているが、いまだ実現に至っていない。

本市でも、子供食堂等の民間団体との連携強化、支援を必要とする家庭や児童の見守り体制の強化に必

要性を感じているのであれば、可能な限り国の予算を取りに行くことが行政の重要な仕事のひとつであり、今後、積極的に事業化に取り組むべきである。

コロナウイルスのまん延による経済対策に始まり、その他様々な施策が必要とされている中、同時に基礎となる本市の人口や収入、未来を支えてくれる子供への投資が、住みよい和歌山市をつくるための必須条件であり、最も費用対効果が高いと考える。

子育て環境日本一を目指すに当たり、子供の見守り強化事業の必要性について市長の考えはどうか。



答 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子供の見

守り機会が減少し、児童虐待等のリスクが高まっており、子供の見守り強化は必要と認識している。

今後、子供の見守り強化や子育て支援策を充実し、子育て環境日本一を目指すためには、行政側が受け身になつてはいけなさと考えている。様々なネットワークを通じて、子育て環境の実態を把握し、政策を考えるとともに、本市から団体に對し、積極的に市や国の制度の活用、応用を提案していくよう心掛けていく。

和歌山興志クラブ



はまた しんすけ
浜田 真輔

農業資本の維持管理

問 老朽化が進み、農業従事者の高齢化と受益者の減少によつて維持管理もままならない「ため池」と都市生活排水も受け入れている「農業用水」は、農業の要であり、暮らしの中でも

減災において重要な役割を担っている。これら老朽化等の早期解決に向け、予算を増額すべきだと思うが、市長の考えはどうか。

答 水路のしゅんせつや清掃、補修などを行いながら、通水機能の確保に努めるとともに、ため池については、国による事業実施に要する費用の財政上の措置等を活用し、国・県への要望を含め事業実施に努めていく。



整備後のため池

農業を担う人材の確保

問 農業を産業として再確立するには、農業を知るきっかけや学べる環境の整備、所得補償などが重要だと考えるが、農業にやりがいを持ち、所得の確保を目的とする農業従事者を今ままでい

上に増やす具体的な政策を考えているのか。

答 農産物の高付加価値化や販売先の拡大など、ブランド化や産地化を目指し、本市農産物等のPRや四季の郷公園の直売所の整備など、農業の高収益化の推進、担い手の育成・確保や生産性向上などの取組を継続的に実施し、やりがいや誇りを持つて農業に従事することができるよう、新規就農者が定着しやすい環境整備や農業所得の向上に向けた施策を検討していく。

日本維新の会



なかしやうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

中学校全員給食の実施

問 多くの保護者が全員給食を望んでいるとのアンケート結果を受けて、教育委員会はどうか考えているのか。また、子育て環境日本一を目指す和歌山市にとって、中学校全員給食の実施

は未来への投資と考えるが、現実的な方法として、現在の調理施設を使って実施することができないか。

答 全国的な全員給食の流れの中、本市の実情も鑑み、生徒、保護者双方にとってより良い中学校給食について考えていく。また、児童数が減った小学校で調理した給食を中学校に配送することが可能だが、食中毒防止などの衛生管理用の設備上、現有施設では過去の食数までは適正な調理を行えない学校も多くある。

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

市議会をもっと知りたい! ~教えて議会博士~

花子 太郎 博士

「家に帰って、ホームページを見ようよ。」
「そうだね。博士、ありがとう。」
「はい、いつでも聞いてね。」

太郎 花子 博士

「市議会には、請願や陳情・要望といった決められた提出方法があるんだよ。」
「違いがよく分からないんだけど……。」
「大きな違いは、請願は一人以上の紹介議員が必要で、陳情・要望は紹介議員がいらないんだ。それに、請願は本会議で採決するんだよ。両方とも年齢は関係ないから君たちにも出せるよ。詳しくは、市議会のホームページをチェックしてみてね。」

太郎 花子 博士

「市の仕事について、こんなことをしてほしいという意見や要望があるときは、市議会にその内容を伝えることができるんだよ。」
「じゃあ、公園のことも要望できるの?」
「もちろんできるよ。」
「えっ! どうしたらいいの?」



花子



太郎



議会博士

請願及び陳情・要望のご案内

請願及び陳情・要望の方法は、市議会ホームページでご覧いただくことができます。

書き方など詳しくは、議会事務局議事調査課 ☎435-1120までお問い合わせください。

和歌山市議会 請願・陳情

検索



請願及び陳情・要望の受理件数

	請願	陳情・要望	計
令和2年度 ※9月定例会時点	1	3	4
令和元年度	3	12	15
平成30年度	1	10	11

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案2件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、付託された請願1件について、不採択とすべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、**地域公共交通感染拡大防止対策事業**375万6千円について。これは、新型コロナウイルス感染症対策として、バス事業者が実施する路線バス車両等への抗菌剤の吹き付けに対して補助するもの、及びバス・鉄道事業者が実施する必要な感染症対策を行った上で車内等の密度を上げないように配慮した運行に対し補助するものです。

行政情報システム運営事業113万円について。これは、「新しい生活様式」実践に向けて、Web会議を推進するためのWebカメラの購入等やテレワークを推進するためのモバイルPCの購入等を行うものです。

地域公共交通維持・確保事業485万円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により激減している利用者の回復に向

け、鉄道事業者が実施する需要回復事業に対し補助するものです。



鉄道事業者が行う子供向け体験イベント

自転車活用推進事業67万6千円について。これは、「新しい旅行スタイル」の環境整備として、サイクリストを受け入れるためのサイクルラック等を購入するものです。



サイクルラック

なお、審査過程において、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案3件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、**施設開設準備経費助成金助成事業**3318万円について。これは、介護施設等の大規模修繕に併せて行う介護ロボット・ICTの導入に対する費用を助成するものです。

PCR検査センター委託事業626万円について。これは、今後の感染拡大局面に備え、PCR検査センターを医療機関へ委託し、検査体制を強化することで、PCR検査の迅速化・効率化を図るものです。

備蓄品整備事業2413万3千円について。これは、今後の感染拡大局面に備え、保健所の備蓄品を整備するため、医療資器材を購入するものです。

議案第3号、令和2年度和歌山市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) **保険料収納システム改修事業**580万7千円について、議案第4号、令和2年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算

(第1号) **保険料収納システム改修事業**493万2千円について。これらは、保険料収納の利便性向上を図るため、コンビニ収納及びキャッシュレス収納が可能となるようシステム改修を行うものです。



なお、審査過程において、介護保険サービス事業者に対する行政処分、特別定額給付金の給付状況、妊婦応援臨時特別給付金の給付状況、子育て世帯臨時特別給付金の給付状況、ひとり親家庭等臨時特別給付金の給付状況、ひとり親世帯臨時特別給付金の給付状況、和歌山市の環境(令和元年度報告)、太陽光発電事業の進捗、し尿くみ取り手数料の減免報告について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

市議会をもっと知りたい!



次の
定例会は、
12月です!

生の市議会を
見る



本会議や委員会は、どなたでも
傍聴することができます。一度、生
の市議会を傍聴してみませんか。



インターネットで
市議会を見る

〈生中継・録画中継〉



本会議や委員会の模様をイン
ターネット中継で配信しています。
パソコンやスマートフォン等とい
つでも視聴することができます。



文字で読む



本会議や委員会の会議録を公
開しています。会議録は、ホーム
ページ内の会議録検索システム
で検索、閲覧することができます。



議員連盟

活動
レポート

Vol.17

森林環境保全促進和歌山市議会議員連盟は、本市の
水源地保護等を図るため活動しています。その取組の一
つとして、紀の川の源流にある奈良県川上村から講師を
お招きし、小学校への出前講座を行っています。今回は、
雑賀小学校において、普段使っている水道水が遠くの水
源地から運ばれてくることや、源流の自然と水源地を守る
ことの大切さを学習していただきました。この出前講座は今後も継続します。



出前講座の様子

広報委員会からのお知らせ

Facebookもチェック



公式フェイスブックページ

《目指せ! フォロワー3,000人!!》

和歌山市議会では、市民の皆様にも市議会をより知っていただくため、
公式フェイスブックページを開設し、最新情報を発信しています。

現在、約1,400人の方にフォローしていただいています。

和歌山市に生活圏がある皆さん、ぜひフォローをお願いします!
お気に入りの投稿には「いいね!」や「シェア」をしてご
活用ください。

<http://www.facebook.com/wakayamacity.gikai/>



和歌山市議会広報委員会

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| 【委員長】西風 章世 | 【副委員長】丹羽 直子 | |
| 【委員】中村 朝人 | 赤松 良寛 | 山中 敏生 |
| 川端 康史 | 山野 麻衣子 | 坂口 多美子 |
| 藪 浩昭 | 古川 祐典 | 北野 均 |
| 佐伯 誠章 | | |

〒640-8511

和歌山市七番丁23番地

和歌山市議会広報委員会 宛

TEL : 432-0022 (議会事務局)

FAX : 424-9276

Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
植物油インキを使用しています。

